

地域環境ジュニアパトロール
活動報告書

グループ名	フラワーグループ
-------	----------

テーマ	私たちの町を緑でいっぱいになろう。
-----	-------------------

メンバーの氏名	学 校 名	学 年
大橋 亜有美	鯖江市立待小学校	5年
野澤 ひとみ	鯖江市立待小学校	5年
増永 有輝	鯖江市立待小学校	5年
笠嶋 剛	鯖江市立待小学校	5年
福岡 万里子	鯖江市立待小学校	5年
山本 剛	鯖江市立待小学校	5年
指導者氏名	屋木 洋子	教職員

1. テーマを選んだ理由

私たちの学校では、グリーンマークを集めて、花の苗にかえてもらったり、トレーを集めて植木鉢にかえてもらったりしています。そして、1人1人はちの花づくりをして学校を花いっぱいになっています。わたしたち、フラワーグループは、学校だけでなく立待地区も花いっぱいになったらいいなあと思い活動することに決めました。



2. 活動の記録

7月22日（木） 地域環境ジュニアパトロール説明会に出席しました。手帳とTシャツをいただき「夏休み中に、少しでも花いっぱいになったらいいな。」と思いました。

7月23日（金） グループのメンバーが集まり、手帳とTシャツを分けまして、緑でいっぱいにするにはどうしたらよいか、意見を交換しあいました。

- ・一人一鉢で育てているペゴニアを植えかえる。
- ・どのくらい町に花があるのか調べたい。

- ・プランターに花を植えて、道路やみんなが利用する所におきたい。

このような意見が出ました。

8月2日(月) みんなの意見をもとに、活動計画を話し合いました。山本君は、8月の終わりには、転校してしまうので宮崎村と立待地区のちがいや、似たところなどレポートしてもらうことにしました。

8月3日(火) 立待地区をまわって、木と花のある所を調べた。石田地区は、あまり植えるところがなかった。しかし、花を育てている家がたくさんあり、家の前にプランターがたくさんならんでいて、やっぱり花があると町はきれいに見えるなあと思った。杉本、糺、吉江地区は、木はいっぱいあったが、花はあまり植えてなかった。道路の木の下に、草がいっぱいはえていてここに、花が植えてあったらいいと思った。ごみがいっぱい落ちていたので、ごみ拾いもした。



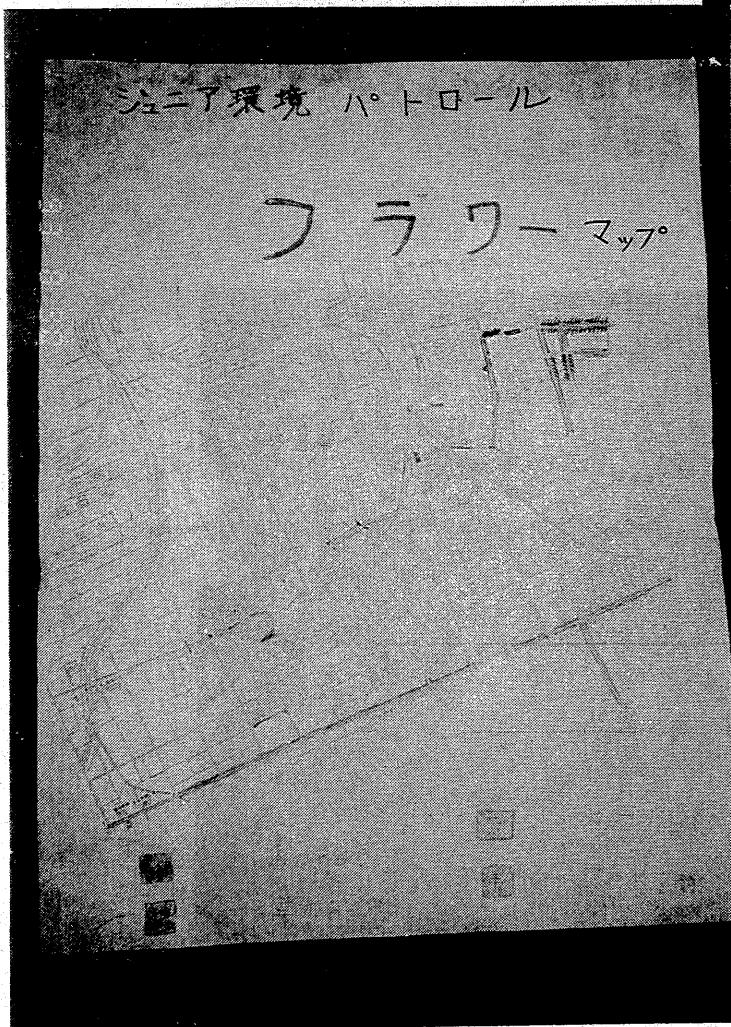
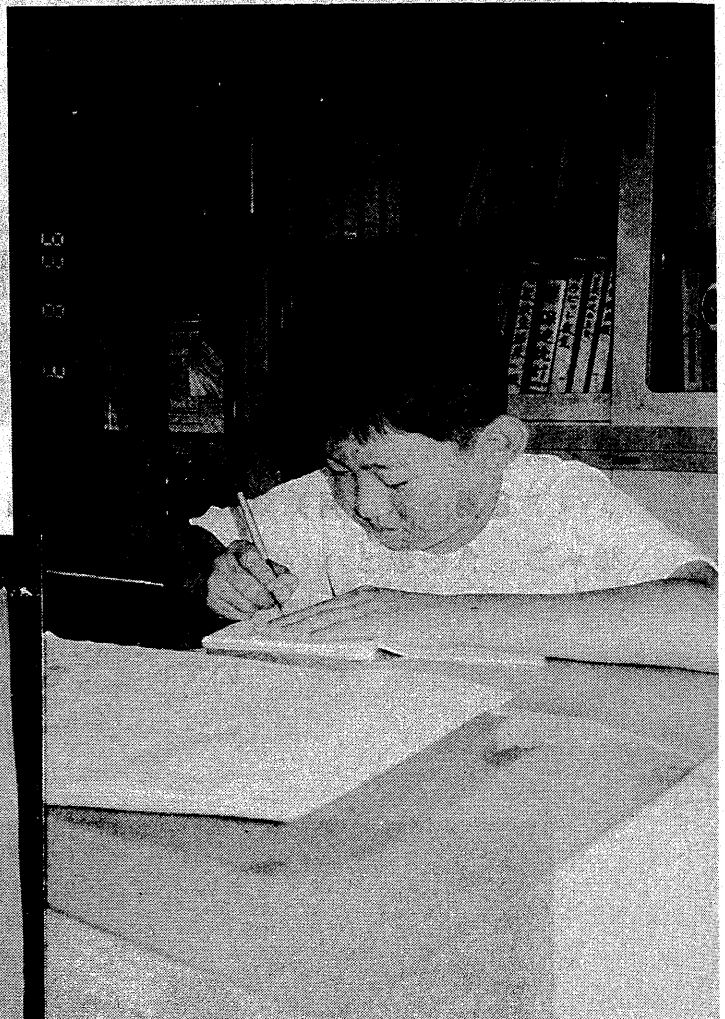


8月9日（月） 3日の調査で、特に、草が多かった丸山公園ちかくの草むしりをした。黒いふくろ5杯分ぐらい集まり、とてもきれいになった。いぬのふんやごみも落ちていて、とてもきたなかった。



8月17日（火）

8月3日に調べたことを、地図に色別に分けて記入し、フラワーマップを作った。マップを見て、花をおくと町がきれいになると思われるという場所を20カ所決めた。これで、私たちの町が花が一杯になったらいいなあと思いました。



8月23日（月） 一人一鉢で育ててきた、ベゴニアをもちよったけれど、花の種類や数が少ないのでプランターと植える花を買いにいった。

8月24日（火） プランターに、赤と青のペンキで「Jr. パトロール立待小」と書いた。ゴミ箱ブラザーズの人たちと協力して、土をいれて花を植えた。プランターに、植えられている花を見ると、どこもきれいで、早く町にもっていきたいなあと考えた。



8月25日（水） みんなで手分けして、プランターをおきにいった。

場所は、石田児童館前2ヶ所

石田橋出入口4ヶ所

弓道場入口前1ヶ所

杉本方面の道路木の下3ヶ所

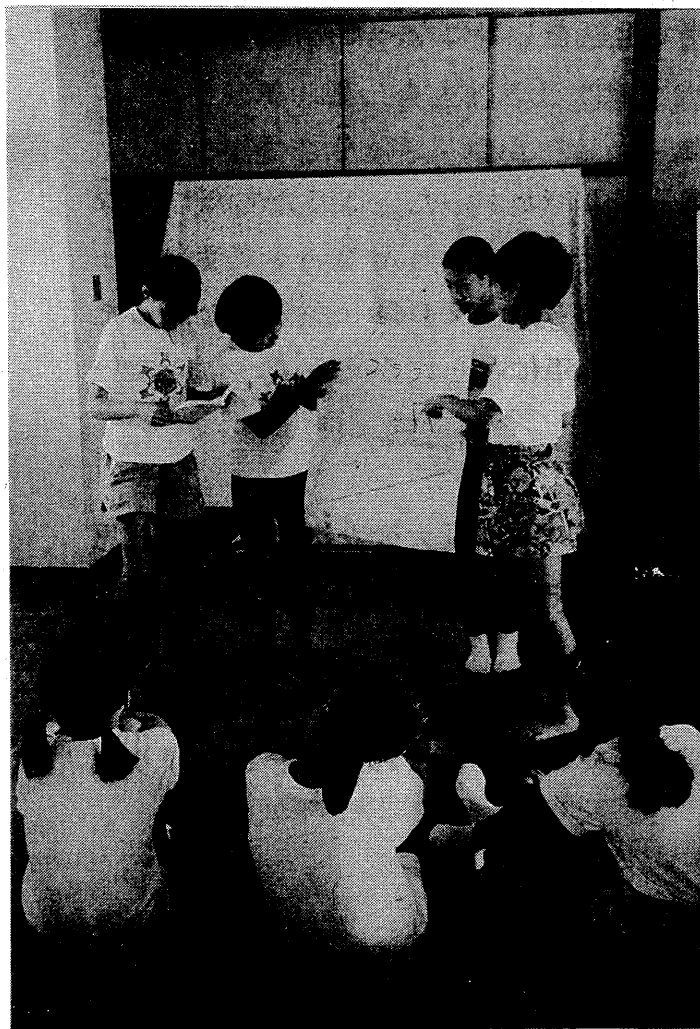
丸山公園、グラウンド、きのこ公園8ヶ所

立待小学校、校門前2ヶ所

なんだか、前が明るくなったような気がした。その後の世話は、手分けしてすることにした。



8月30日（月） ごみ箱ブラザーズと合同で活動報告会をしました。
そして、丸山公園、グランド、きのこ公園の6ヶ
所のプランターについては、ブラザーズが、ごみの
回収に行くときに、水やりや世話をしてくれること
になりました。とてもうれしかった。



9月～ それぞれの場所においたプランターの世話を分担しました。
また、校内の生活委員会を通して、校内のみんなにも花の
世話をお願いしました。
3年生や4年生の子も水やりをしてくれてとてもうれしか
ったです。

3. メンバーの感想

(大橋 亜有美)

立待地区の緑をもっともっとふやし、自然でいっぱいの町にしたいと思い活動をつづけてきました。プランターの花が、少し大きくなり、きれいな花がさきつづけているのを見ると、やってよかったなと思う気持ちになります。冬は、回収し学校で世話をし春になったらまた、花を置きたいです。

(増永 有輝)

地図に表すとたちまち全体の様子がよくわかった。ぼくたちだけでなく婦人会や光道園などでも花一杯運動をして、ならんでいるプランターをみるととてもきれいだと思ったぼくたちは、20個しか置けなかったけど、これからはしっかり世話をし来年はさらにふえるようにしたいです。

(福岡 万里子)

最初のころにした草むしりでは、正直いって「大変な活動だな」と思いました。でも花を置くようになり、水やりや世話に行くようになってから今までより自然が好きになりました。

石田橋に置いたプランターは夜、バスケの帰りにお母さんが水をもってきてくれるので、その時に水やりをしています。これからはがんばりたいです。

(山本 剛)

ぼくは、環境ジュニアパトロールのメンバーになって、地区内の主な道の美化運動とフラワーマップづくりをしました。2学期から宮崎村に引っ越ししました。

宮崎村は、緑がいっぱいで野原も多いけど、みんなで草刈りしたり花を植えたりして、とてもきれいです。この活動に、ぼくも協力したいと思います。

(笠嶋 剛)

野球部の練習とかさなることがあり、全部に参加できなくて残念でした。

一番心に残っているのは、草むしりをしたとき犬のふんがいっぱいあって気持ち悪かったことです。みんながつかう所だからこそ大人も子供も気をつけないといけないのになぁと思いました。

町のいろいろなことがわかりこんなことをして楽しいと思いました。
これからも、がんばりたいです。

4. 指導者の感想

「先生、グリーンマークでいただく苗で、花一杯の立待にしたいんです。いっしょに活動してください。」という声に、「協力するよ。」と何のためらいもなく答えてしまいました。

そして、夏。自主的そして意欲的に活動計画をたて実践していく子供達に感動しながら、環境パトロールのメンバーとして活動することができました。また、活動中の子供たちにはげましの言葉をかけてくださる地域の方や水やりに協力してくださるみなさんに心が熱くなりました。

このパトロール活動を通して、子供たちもそして指導者にさせていだいた私自身もよい心の栄養剤を得ました。

